

日 時：平成 26 年 5 月 12 日（月）18 時 30 分 ～20 時 30 分

場 所：久吉地区公民館

対象町会：久吉、湯ノ沢

参加者：21 名

| 内 容  |
|--|
| <p>(市民からの要望・質問)</p> <p>今回は、11 項目の要望を紙にまとめてきた。それでは、順番に説明する。町会要望は、1 年に 2 件までと言われているが、今日お願いする内容を一挙にお願いしたい。</p> <p>①道路及び橋の拡幅工事について</p> <p>まず 1 番目は、久吉地内の石村さん宅跡から久吉地区公民館までの道路及び橋の拡幅工事ですが、これは先ほど予算を付けていただいたということを知ったので、省略します。</p> <p>②蓋付きの側溝について</p> <p>久吉公民館から少し先になるが、工藤さん宅前から二ノ渡り橋まで及び船岡地区の明石さん宅前から松田さん宅前まで、蓋付きの側溝を入れてもらいたい。</p> <p>③水路の拡幅について</p> <p>工藤さんの畑の水路を拡幅してもらいたい。以前大雨で決壊したところであり、3～4 年経過している。</p> <p>④水路石垣について</p> <p>たけのこ料金所向かいの水路石垣が劣化し、地震のたびに石垣が崩れている。たけのこの里への交通障害にもなるので、早急に整備してもらいたい。</p> <p>⑤道路拡幅工事について</p> <p>国道 7 号添えの店舗「しんせん組」から久吉木炭生産組合までの間の道路について、狭くて坂道でもあるので、車が交差するたびに危険である。拡幅工事をお願いしたい。また、山手側の立木が道路に覆いかぶさり、交通の障害になるので伐採してもらいたい。</p> <p>⑥ガードレールの設置について</p> <p>工藤さん宅と明石さん宅間の側溝前に、転落防止の為にガードレールを設置して欲しい。落差の大きい場所であり、手押し車で歩いている高齢者が落ちる危険性もある。ガードレールの長さは 5～6 m もあれば十分だと思うので、早めに整備してもらいたい。</p> <p>⑦ヒューム管について</p> <p>たけのこ料金所の門のところのヒューム管を大きなものと交換して欲しい。大雨の時に詰まる。</p> <p>⑧屯所について</p> <p>第 19 分団屯所が老朽化しているので建て替えをお願いしたい。</p> <p>⑨久吉地区公民館について</p> <p>公民館は、耐震に問題がある。また、雨漏りもしているし、非常階段も錆びて危ない。屋根のペンキもお願いしたい。</p> <p>⑩たけのこの里について</p> |

たけのこの里の営業を維持して欲しい。

①農業機械購入の補助について

耕作協定組合（生産組合）について、以前農業機械を購入する際に補助もらった。今後も農業機械を購入する際に補助してもらいたい。

以上が、私からのお願いです。

（市の回答）

・①について

まず、1番目の橋の件は、予算は未だつけていません。これからの予定です。先般現場を見たが、行政委員から要望があがっている案件の中でも今すぐやらなければならないところはやりたいと考えている。要望の1番のところは、6月補正にあげて今年中にやるようにする。

・②について

2番目の側溝については、非常に申し訳ないが今年は無理です。理由は、市内全域の防犯灯・街灯をLED化する計画があり、今年設計して、できれば来年度1年間で全部をLEDにしたいと考えているからです。市内全域では、4,000箇所以上になる。これは行政委員の会議でも要望があったので、どうせやるなら一挙に進めたいと考えている。LED化によって明るくなり、安全・安心な暮らしにつながるほか、電球が長持ちし、町会で行っている交換の手間が省ける。また、電気料が下がるので、街灯の電気料を払っている町会の負担も少なくなる。この実現には、1億3千万円以上かかる見込みであり、我慢してもらわなければならないこともでてくる。

実際に要望2番の側溝の現場も見たが、片側に融雪溝も入っているほか、市の予算が限られているので、我慢してください。

・③について

次に3番目の工藤さんの水路拡幅のところですが、去年やる予定だったそうです。ところが大雨でやれなくなったということです。今年の夏くらいまでに着手できるかどうか再調査するそうなのでもう少し待ってください。

（市民からの要望・質問）

・去年、現場の写真を持って農林課に行った。予算が無いということで断られた。今年もまた大雨が降れば被害が拡大すると思うので、早く実施してもらいたい。今回、この場に農林課が来ていないのが残念です。

（市の回答）

・わかりました。早くできるようにしたいと思います。

・この懇談会の目的は、皆さんから「道路を直してもらいたい」などの要望を聞くのももちろんであるが、真のねらいは、この碓ヶ関地域をどのようにして活性化していくか、いかにして人口減少社会に対応していくか、それらのことを話し合う場にできればと思っている。

(市民からの要望・質問)

・工藤さんの水路の件であるが、ついでに言うと、工藤さんの現場の上流に堰堤があり、そこに砂が溜まり溢れているので、一緒に見てもらえれば良いと思う。

(市の回答)

・碓ヶ関支所のほうに後日現地確認してもらう。

・④について

次に、4番目のたけのこの料金所向かいの水路の件であるが、これも現場を見なければ何とも言えないので、現場を見た後で回答する。

・⑤について

5番目の「しんせん組」から久吉木炭生産組合までの道路の件であるが、これも持ち帰って検討させてください。また、今回は何件も要望されているが、ここの地域だけに予算を掛けるというわけにもいかないので、優先順位をつけてもらうことにもなろうかと思う。

・⑥について

6番目の工藤さんのところは、転落防止のガードレールということで、危険な場所であれば、急いで手当てしなければならないので、後で現場を確認してもらう。

・⑦について

7番目は、たけのこ料金所付近のヒューム管についてということであるが、現場を見て判断したいと思う。

・⑧について

8番目の屯所の建替えについては、順番を決めて改築していると思うので、後で総務部長から詳しい内容を伝えてもらう。

・消防の屯所や車両は、長期計画の中で順番を決めて改築や更新を行っている。久吉地区の屯所は、今年や来年の計画には未だ入っていない。

・⑨について

9番目、公民館の耐震についてであるが、耐震に問題があることは私も聞いている。碓ヶ関地域の公民館は、合併前は、碓ヶ関村で建てて運営も村で行っていたと聞いている。旧平賀町の場合、建物はいろいろな補助金を使って建てたとしても、管理運営は各町会で行っている。このような違いが今でも残っている。

(市民からの要望・質問)

・町会では、市で公民館を建ててくれれば、あとは町会で引き受けてもいいと考えている。

(市の回答)

・建替える場合どこに建てるのか。また、今の建物と同じスタイルの建物では耐震面でクリアできないと思うが。

(市民からの要望・質問)

・現在地に土を盛って建てたいと考えている。建物の形は、今と違う形になると思う。

(市の回答)

・教育委員会としては、久吉の公民館をどうするか議論している途中である。

久吉、古懸、碓ヶ関に公民館があり、碓ヶ関村時代には、地区公民館的な使われ方をしてきた。しかし今の実情は、集落の集会所の役割を果たしているので、碓ヶ関地域の公民館も平賀地区や尾上地区と同様に、指定管理の方向でお願いできないかと思っている。耐震診断の結果、久吉公民館も古懸公民館も弱いということで、「規模を小さくして建替えてはどうか」という話が担当からあったが、それを町会に提示したという話は今初めて知った。正直なところ、課内では指定管理や建替えの方向性が未だ決まった訳ではないので、もう少し時間をいただいて、改めてこちらからお示ししたいと考えている。

(市民からの要望・質問)

・町会ではもう既に総会で話をした。船岡にも集会施設があるが、経費を考えると、久吉に小さい規模でもいいので集約してはどうかという話になった。公民館の係から図面を求められたので、私を書いて渡した。そういうやりとりがあったので、私としては、市が建ててくれるものだと思った。

(市の回答)

・現在、集会施設を建てる場合、地元負担も必要になる。久吉公民館建替えの議論は正式には始まっていないが、市としては、古懸と久吉の公民館は、公民館ではなく集会所として地元の人に活用してもらえないか検討していきたいと考えている。しかし、あくまでも建て替えが前提ではないということを、ご理解いただきたい。

公民館の件は、後日改めて話し合いしたいと思うので、よろしくお願いします。

・⑩について

次に10番目、たけのこの里の維持の話であるが、市から碓ヶ関開発に指定管理でお願いし、今年も700～800万円の管理料を支払っているが、赤字になっている。この状況をどのようにしていけばいいのかある意味悩んでいる。

地元の人たちが維持して欲しいと望むのであれば、それを踏まえて考えなければならないと思っている。たけのこの里は非常にいいところだが、冬の休業や国道から奥まったところにあるといった条件の厳しさもある。

(市民からの要望・質問)

・私は以前、「たけのこの里は冬も営業すべき」と言ったことがある。あそこは昔、湯治場であり、冬でも歩いて行った人がいた。

・以前、この地域では、辺地債などを活用しているんなことをしたと思っているが。

・たけのこの里は、宣伝の仕方が悪いと思う。先日、たけのこの里が新聞に載ったら、その

反響で来客がすごかった。もっと宣伝に力を入れるべきだと思う。

(市の回答)

・たけのこの里を今すぐに無くするという事ではない。ただ、年間800万円の補てんを受けても経営が大変だと碓ヶ関開発さんが言うので、どうしたらよいものかと考えている。

・辺地債などは、交付税の算入率は高いが借金に変わらないので、安易に考えてはいけないと思う。また、「合併して良くなったことは何もない」という声も聴くが、合併したからこそできるようになったこともあると思う。診療所の開設もその一例だと思うので、ご理解をお願いしたい。

・⑩について

最後の耕作協定組合の機械購入費補助金の件であるが、具体的にはどういうことか。

(市民からの要望・質問)

・耕作組合で以前にコンバインやトラクター、田植機を購入した際、補助金をもらった。今回トラクターを1台欲しいと思っているが、以前のように補助金をもらうことができないのか。

(市の回答)

・補助金の考え方として、原則、更新は対象にしていない。規模拡大に伴ってその面積に見合った新たな機械が必要であるとか、そういった場合は対象になっている。詳しくは経済部に直接問い合わせていただきたい。

(市民からの要望・質問)

○車庫近くの道路側溝について

・私の車庫近くの道路側溝は、町会に要望してもらったところ、昨年の秋、市が側溝を入れてくれた。しかし、すぐ壊れたので、私は「テンプラ舗装したのではないか」と市に聞いた。市の担当は、「法面のほうから水が流れているので、緩んだのではないか」と主張。今は応急的に鉄板を敷いている。現場には私の私有地も含まれているということもあり、私が生コン1台分を支給するので、工事は市のほうにお願いしたい。

(市の回答)

・この前、支所の担当が現場に行った。再度担当と話をし検討するのでよろしく申し上げます。

(市民からの要望・質問)

○議会对応に関する市長の考えを聞きたい

市長の基本姿勢として「対話と実行」をトップに掲げているが、久吉公民館に早々に来ていただき、誠にありがとうございます。

昨今の新聞・テレビ等で、平川市が一躍有名になっている。しかし、多くの観光客等が訪れる碓ヶ関の道の駅において、お客さんに訪ねると、平川市を知らない人が多い。

今回の選挙違反による報道は、平川市を大きくピーアールするものである。

いい意味であればもっといいのだが。今の平川市の状況は、ピンチとも言える状況であるが、これだけ名前が売れた訳なので、今後の対応次第では、チャンスに変えることも出来るのではないか。

次に、民主主義社会の中では、議会との対話が大事だと思う。これからの議会对応について、市長はどのように考えているのかお聞かせいただきたい。

(市の回答)

・今回の選挙違反によって、悪い意味で全国発信となったことについて、非常に残念に思うとともに、このことで市政が停滞しないように努めている。

知名度を逆転の発想で全国にピーアールできないかとの意見がありました。私も公約に発信力ということ掲げているが、出来るだけ私先頭に立って、県内はもとより県外にも平川市の魅力を発信していきたいと思っていますし、手段等について考えていかなければならないと思っています。

議会との対話ですが、今回20人いる市議会議員のうち私を応援してくれた議員は5名です。市長就任早々、人事案件などに関して、私を支持しなかった二つの会派に、お願いに行った。平川市を良くしたいと思う気持ちは議員の皆様も同じであろうと思っている。

結果として、一人の反対もなく、人事案件や26年度の補正予算案に賛同していただき、本当にありがたいと思っている。これからも議員との対話を大事にしながら平川市の発展を目指していきたい。

私は、今回の選挙で当選させていただいたが、私を支持しなかった8千余りの人もいる。

今後、自分を支持してくれなかった人にも時間をかけて、私の考え方や政治姿勢について理解してもらえよう努力したいと考えている。

(市民からの要望・質問)

○職員の接遇について

・企業であっても行政であってもトップの指導力だとかガバナンスが重要視されていることは言うまでもないが、長尾市長が就任されてまだ何ヶ月も経っていない中であって、職員の対応が良くなったところと全く変わらないところがある。良くなったと感じたことについて報告させていただく。

私は、約30年近く地域の納税に関わってきた。先般、私が留守の時に納税組合の切符が置かれていた。これまでだと置いて行ったことについて一切連絡がなかったのに、今回は、翌日の朝に電話があった。これは長尾市長の指導により変わったものと思っている。市長はもちろん接遇に気を使っていると思うが、市長だけでなく、平川市の職員全員が市民に対しておもてなしの気持ちを持って接していただきたいと思う。そうすることが、地域の活力にもつながるものと思う。これらのことに関して、市長の考えをお伺いしたい。

(市の回答)

・就任した際、職員を前に「市民を第一に考えて欲しい」ということを話したほか、4月の辞令交付の際にも、職員に五つのことをお願いした。

一つは、「主役は市民であり、市民本位の考え方をしてもらいたい」ということ。二つ目は、「現場主義」で、「困っていることはそれぞれの場所で異なる場合もあるので、現場に足を運んで、状況を把握して対応してもらいたい」ということです。三つ目は、「それぞれの部署があるけれども意識を共有してもらいたい」ということであり、いわゆる情報の共有をすることによって市民サービスの向上にもつながるということ。四つ目は、「職員間の対話、市民との対話、そして議会との対話」。とにかく対話を重ねていただきたいということ。五つ目は、「前例にとらわれず新しいことに挑戦してもらいたい」ということ。最終的に責任を取るのにはトップの市長であるので、市民のためになるのであれば、前例にこだわらずに新しいものへ挑戦してもらいたい。この五つのお願いをしました。

今、職員の接遇を良くしようと、参考マニュアルを作成するための検討チームを立ち上げた。市役所が市民の皆さんにもっと身近な存在になって、気楽に来ていただけるような環境作りに取り組んでいますので、何か気付いたことがあれば、また教えていただきたい。

(市民からの要望・質問)

○公共交通の確保について

・高齢化進んでいる。いずれ私たちも車を運転できなくなるので、公共交通が必要になってくると思う。公共交通の確保についてお願いしたい。

(市の回答)

・これは非常に大事な問題であるが、現実には難しい問題でもある。公共交通として平賀地域では巡回バスがあるが、利用率が低い状況。しかし、将来的にマイカーを利用できない人が増えるのは確実であるので、バスがいいのかタクシーの乗合がいいのか、地域の実情にあ

った方法を考えていかなければならないと思っている。

(市民からの要望・質問)

○Uターン、Iターンに対する市の支援について

- ・私自身、Uターン組であり、6年前にこちらに帰ってきた。今全国的にUターン、Iターンに対する支援が行われていると思うが、平川市にそういった支援制度はないのか。
- ・人口が減る一方であり、若者の定住を促すような施策が必要だと思う。碓ヶ関にリハビリセンターと簡保温泉あったとき100人以上の雇用があったと聞いている。

(市の回答)

- ・平川市には現在のところありません。
- ・首都圏に住んでいる東京平川会の方々の話からも、働く場がないことが地方を離れる大きな要因だと思う。一方で、平川市は、民間の統計で住み良いまちとして上位にランクされている。その意味では、弘前などからも移住してくる人が多くみられる。いずれにしても雇用の確保が喫緊の課題だと思う。

(市民からの要望・質問)

- ・Uターンで帰ってきたときに、働く場を求めて農林課に相談に行った。トマトのハウス栽培に係る補助事業等について細かく説明してくれ、また、時々進捗状況についても連絡をくれるなど、親切に対応してくれた職員がいた。しかし、担当が代ってからは、きちんと説明してくれないし、対応が粗末で何回も足を運ばなければならないことがあった。窓口の対応次第で、市民が不利益を被ることもあるので注意してもらいたい。

(市の回答)

- ・窓口対応について、これからも指導していきたいと思っている。職員は、異動することもあるが、周りのフォローがしっかり行われるよう意識付けていきたいと考えている。新規就農者、Uターン、Iターンに対する支援制度はこれからますます重要になってくると思う。今は、新規就農に関して県や国の事業があり、Uターン、Iターンにも対応しているが、市としても何かすべきことがないか、これから検討したいと思う。いい提言をいただいた。勉強させてください。

(市民からの要望・質問)

○人口減少、村の将来を見据えた長期展望について

- ・私は、県外の出身ですが、主人と一緒に住んでみてすごくいい場所だと思っている。この地域も人口減少が進み、今後どのようにしなければならぬか我々住民も考えなければならぬことだが、市長もいろんな地域を見てきた中で、我々が何をすればいいのか、起爆剤になるような発想を持っているかも知れないので、市長の考えをお聞かせください。

(市の回答)

・市では長期総合計画という計画に沿って市政を運営しているが、このまちづくり懇談会で出された提言についても、反映していく考えである。また、これまで行政に依存する傾向が強かったまちづくりについて、地域でも主体的に何かできることはないか。そういった意識を高めていただきたいと思います。

地域でできること、行政でなければできないこと、そのすみわけを行いながら、まちづくりを進めていきたい。この地域をどうしたら維持していけるのか、地域ごとに抱える事情も違うと思うので、まずはそこに一緒に暮らしている人々が課題を共有し、知恵を出し合うことが大事だと考える。

まちづくり懇談会、今年は40カ所で開催予定。私自身、奇抜なアイデアを持っている訳ではなく、市民の皆さんとの話し合いの中から何かを生み出していきたいという考えである。

(市民からの要望・質問)

・村に住んでいる私達が、住民同士でどうしようかと悩んでもなかなかイメージが発展していかない。悩んでいるうちに時間だけが過ぎて、どうにもできない状況になることを危惧している。この地域は、農業主体でやっていくのがいいのであれば、具体的な農業政策をご提案いただければ我々もそれに向かっていけると思う。市役所のほうで様々な情報を持っていると思うので、モデル案などをお示しいただければ有難い。

たけのこの里については、この地域において集客できる貴重な施設であるにもかかわらず、経営が赤字だからといって即廃止しようという短絡的な考えであっては、この地域がますます人が寄り付かない、寂しい地域になってしまう。その点も踏まえて行政でテコ入れをしてもらいたいと思う。

(市の回答)

・非常にいいご提言いただいた。ありがとうございます。たけのこの里については、6月から新しい副市長が取締役になる。副市長も「せっかくいい施設なので活かしていきたい。」と意気込んでいるし、礎ヶ関開発のほうでその手法を検討していくことになる。「市役所にはもっと情報を発信し、提案してもらいたい」とのことであるが、もったもである。私も農業に関しては、成長産業だと思っているし、公約に掲げたとおり、力を入れている。国でも六次産業化を推進し、今までは1兆円規模であった農業分野を10兆円産業にするという方針を打ち出しているのだから、国や県の政策と合わせて、市として何ができるのか、これからも検討していく。今、発信力が弱いかもしれませんが、勉強させていただき、農業振興を図っていきますのでよろしくお願いします。

(20:30 終了)